

「春のこども祭り」

(2015年5月16日 於：バルタリマヌ日本庭園)

今般、イスタンブール大市サルエル市に所在するバルタリマヌ日本庭園において、「春のこども祭り」が開催されました。

これは、日本とトルコの友好関係の将来を担うトルコの子供達に、日本の「子どもの日」の伝統である鯉のぼりを掲げる中で、様々な日本の伝統文化を体験してもらうという体験型の春祭りです。当日は晴天に恵まれ、イスタンブール市内にある3つの中学校から参加した生徒と先生方、イスタンブール大市関係者、そして日本からトルコに留学中の日本人大学生の皆さん約100人の参加者で会場は活気にあふれました。



参加者全員の見守る中、まずは、日本の5月の風物詩である、鯉のぼりの掲揚が行われました。そして、福田総領事による開会の挨拶に続き、トルコ訪問中の長谷川総理大臣補佐官兼内閣広報官、ニハット・マジット・イスタンブール大市副市長補の挨拶が行われました。長谷川補佐官は、この庭園を通じて、これから両国の友好関係の将来を担うトルコの子供達が日本の伝統文化を体験し、日本をより近くに感じていただきたいと話、今後の庭園改修に向けた計画も述べられました。



挨拶をする長谷川総理補佐官



挨拶をするマジット副市長補



鯉のぼりの掲揚

続いてドイツのブレーメンを拠点とする和太鼓グループ「正太鼓」のメンバー、カラユルマズ恵美子さん(当地在住)による和太鼓の演奏が行われ、参加した子ども達は、初めて聴く和太鼓の音に一心に聴き入っていました。



和太鼓ミニコンサート

今回、当庭園では初めて、トルコの子ども達を招いての「こども祭り」を開催し、鯉のぼりの掲揚をはじめ、和太鼓の演奏や折り紙体験、当地の日本人寿司職人によるお寿司の作り方の紹介など、様々な日本文化体験が企画されましたが、参加した子ども達は、初めての日本文化体験に目を輝かせて取り組んでいました。



折り紙で兜に挑戦



和太鼓に挑戦する子ども達



興味津々に寿司作りを見学

体験行事の後、お寿司やから揚げ、コロッケなどのお惣菜が入った食事をみんなでとりました。トルコの子ども達にとってはなじみのない日本食だったと思いますが、人数分以上用意された食事は、あっという間になくなり、トルコの子ども達に日本食に興味を持ってもらうきっかけとなりました。

この「春のこども祭り」は、笑顔の絶えない楽しい行事となりました。

